

情報公開文書

研究課題名	当科におけるアモキサピン使用不可となった後の逆行性射精患者への対応
研究体制	■長野赤十字病院が責任研究機関となる
研究責任者	当 院 所 属 <u>泌尿器科</u> 氏名 <u>天野 俊康</u>
研究期間	(西暦) 承認日 ~2023年12月
研究の概要	<p>(本研究の意義・目的)</p> <p>逆行性射精に対して適応外使用が認められていたアモキサピンが、発がん性の疑いがあるとされ使用不可となった。そのため今後の逆行性射精に対する治療法に関して、その患者さん動向と代替薬の有効性・安全性につき、後方視的にカルテデータから検討する。</p> <p>(研究方法)</p> <p>逆行性射精に対してアモキサピンを投与されていた外来患者さんを対象として、アモキサピンが使用不可となった後の経過および代替薬の効果、副作用などにつき、後方視的にカルテデータから検討する。</p>
試料・情報	カルテデータ
研究対象	<p>2002年8月~2023年12月の間に当院泌尿器科外来を逆行性射精のため受診し、アモキサピンおよび他の代替薬による内服治療を受けられた方(約20名)</p> <p>※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。</p>
個人情報の保護	<p>収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で使用いたします。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。</p>
お問い合わせ先	<p>〒380-8582 長野県長野市若里五丁目2番1号 長野赤十字病院 所属 <u>泌尿器科</u> 氏名 <u>天野 俊康</u> TEL: 026-226-4131 (代表) FAX: 026-228-8439</p>